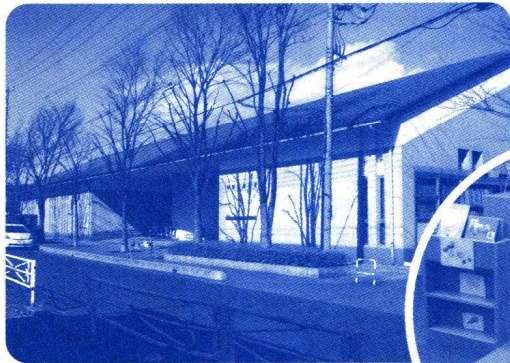


岩槻東部図書館

岩槻東部図書館は、併設の「ふれあいプラザいわつき」とともに1998年に開館しました。少し歩けば春日部市という、さいたま市で最も東にある図書館です。市内でも有数の古刹・慈恩寺と同じく、東岩槻駅が最寄りで、歴史を感じさせる土地柄です。

コンパクトではありますが、スペースの2分の1が小説や実用書などの一般書コーナー、もう4分の1ずつが児童書コーナー、新聞・雑誌・視聴覚コーナーになっていて、一通りの用途に対応できる図書館です。

絵本コーナーは、親子でゆつくりくつろいで本を選んでいただけるように、じゅうたん敷きになっています。また、新聞・雑誌コーナーは、閲覧席は15席と多くはありませんが、一つひとつの椅子の間が広くとられており、ゆったりとお読みいただけます。南側に窓を大きくとってあるため、館内は明るくあたたか。外に目をおければ、公園で遊ぶ子どもたちの姿や、春には満開の桜が見られたりと、のどかな環境の中でご利用いただけます。



黒瓦の屋根に白い壁が目印



児童書コーナー

城下町・岩槻のイメージを生かし、建物は白い壁に瓦葺の屋根で、昔の蔵のような情緒を感じさせる外観です。歴史小説や時代小説の人気が高く、入口そばの展示コーナーでは、よく歴史をテーマにした本の特集をしています。ひと月ごとにテーマを変えて本を集めたこのコーナーでは、入口そばということもあってか、大人だけでなく、興味深げに本を眺めているお子さんの姿も見受けられます。

そんなアットホームな雰囲気にも包まれた岩槻東部図書館に、どうぞ足を運びください。

「存知ですか？」

現代短歌新人賞

現代短歌新人賞は、さいたま市が主催する賞で、市民の文学活動の充実と日本現代短歌界の振興を目的に、平成12(2000)年に設けられました。原則として第一歌集が対象となる賞で、新進歌人の発掘を目指しています。選考委員は、中村稔(選考委員長)、馬場あき子、篠弘小池光、栗本京子の各氏という、そうそうたるメンバーです。

12回目となる今回の受賞作は、柳澤美晴さんの『一匙の海』(本阿弥書店 2011)に決まりました。「この歌集には硬質な抒情性、現代の生の不安、父親に対する屈折した感情、恋人に対する瑞々しい清潔な情感などが認められ、作者の今後の成熟を期待せるに十分な才能と評価し、贈賞にふさわしい」(選考委員講評)「傷ついた地点に留まらず、その先の希望を掴み取るような歌を、この思いで歌集を編みました。不安の多い世の中だからこそ言葉の力を信じて誠実に詠みたいと思います」(柳澤さん受賞のコメント)

作品や選考過程については、雑誌「ミセス」3月号(文化出版局)に記事が掲載されています。図書館でも所蔵していますので、ぜひご覧ください。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	大七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 今回の「Sai発見」コーナーでは市内の城跡を取材しました。開発されて城の様子を偲ぶよすがのまったくないところもあり、12月の寒風の中で、時の流れを感じました。

次回発行：2012年7月30日(年3回発行)

